

〈平成 30 年 9 月 29 日〉鵜住居川水門・片岸海岸防潮堤工事の現場見学会を開催しました。

平成 30 年 9 月 29 日（土曜日）、本県沿岸広域振興局管内で復興事業として進めている鵜住居川水門・片岸海岸防潮堤の工事進捗に伴い、地元住民等（22 名：一般 1 名、自治会関係者 19 名、報道関係者 2 名）を対象に現場見学会を開催しました。

見学会では、鵜住居川水門・片岸海岸防潮堤工事の見学をした後、岩手県の津波防災の考え方等の説明をして、水門や防潮堤の役割や岩手県の津波対策の考え方について理解を深めていただきました。



工事概要の説明



見学の様子（片岸海岸防潮堤の堤防天端部）



見学の様子（鵜住居川水門の堰柱等）

参加者からは、「水門を閉鎖した状況をどのように確認するのか」や「開閉操作をどのように行うのか」等の質問があり、水門・防潮堤施設や工事への関心の高さを感じました。

また、参加者に各々が自由に水門本体へメッセージを書いていただきました。

メッセージには、

- ・片岸の見える未来はこの防潮堤から！！
- ・安全に工事が完了しますように
- ・鵜住居地区の守りをたのむぜ
- ・安全安心な町 鵜住居
- ・夢は今もめぐりて 忘れがたき古里片岸 サクラ川
- ・水門と防潮堤 幸せ創りの 基となる

など様々なものが寄せられ、水門と防潮堤に町を守って欲しいという期待や安全に工事が完成してほしいという願いが感じられました。

さらに、見学会の最後には、参加者から本県職員や施工業者に対して感謝の言葉をいただくとともに、引き続き、安全かつ早期に水門や防潮堤を完成して欲しいという労いの言葉をいただきました。



メッセージの書込み



メッセージの書込み

本県としては、1日も早い津波防護機能の確立を目指して鋭意努力するとともに、今後とも地元住民に、「水門や防潮堤の役割・必要性」や「岩手県の津波防災の考え方」等の理解を深めていただくため、積極的に現場見学会等の広報に努めていきたいと考えております。



集合写真（片岸海岸防潮堤をバックに）



集合写真（鵜住居川水門をバックに）